



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下101 番地 1
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

● 9 月 14 日 (日) 白石スキー場の植生観察 (草地)

作業小屋に着き、数日前に黒い服装注意！と連絡のあったスズメバチの巣はと聞く。地面を指して「そこ」と。昨日駆除されて、薄っぺらに延ばされていた。心の防護対策も解除、駆除ありがとうございました。

ホッとする間もなく、早めの昼ご飯にして出発することに。朝ごはん食べたばかりの様な気がするのだが、と言いつつ食べ終わる。そして、車に相乗りしてスキー場へ。駐車場に到着、すぐゲレンデを登る。

ススキの中から最初に目についたのがエゾリンドウ、色変わったのものも。植林地リスの森から消えてしまったウメバチソウにも会えた。極めつけはマツムシソウか。わずかしか登っていないが、自然のブナやダケカンバの広葉樹がゲレンデの両脇を塞ぎ、この青空と白い雲、贅沢である。だが、誰もが稜線に向かい振り向きもしないので、「後ろを見て！」と声を掛けた。振り向いて「オー」の一声、眼下に県南の街々と水平線が見える。

休憩してから旧白石女子高校の山小屋跡に到着、東京大空襲と同日 1945 年 3 月 10 日未明にこの蔵王連峰に米軍の B29 爆撃機 3 機が相次いで墜落した話を聞く。そして、植生の話や、たまたま生きていたタマゴダケとヤマドリダケの話を聞き下山する。ロッジ近くに降りてくると、キツネがピョンピョン跳ねて横切り、林の手前で「また来いよ」と振り向いて消えて行った。作業小屋へ無事帰着。参加者：11 名



登る、振り返り休憩



エゾリンドウ



ウメバチソウ



マツムシソウ、ゴマナ



ダケカンバ、アオハダ



タマゴダケ、ヤマドリダケ

●9月28日(日) 全観察路を歩き問題点をチェック、大木に名前を付ける

ダム湖の水量もまだ充分に回復してない様だが、稲刈りもほぼ終わり、なんとかこの暑くて長い夏を乗り切れた様な、ホッとした様な。しかし、その温暖化の影響は多岐にわたり、計り知れない。

当然ながら、標高 700m程のこの植林地にも及ぼしている様で、今日のタイトル「大木に名前を付ける」余裕はなさそう。枯れ枝や不要枝を切りながら彩遊の森へ探索に行くことになった。

よく観ると、まず葉っぱに元気がない。枯れかけたり、まばらだったり、大きい葉っぱ程ダメージが大きい。顕著なのがヤマナシやアケビなどの実もの、まあ、数が少ないこと小さいこと。そして痛々しいのは、葉っぱが枯れ落ちて、もう秋なのに一生懸命新芽を膨らませている枝を見た時。一方、ヤマハンノキやススキなどパイオニアプラントと呼ばれるものは比較的元気な様で、少しは安堵する。キノコはどうだろうか。最近の雨で救われてか、少しは地面から出て来ようだが。それでも、リンドウ・ツルリンドウ・ノコンギク・オクトリカブトなどが咲き、ガマズミやノイバラの実などが赤く彩ってくれている。植物たちはなんとか踏ん張っているようだ。

緑の無い、酸素の無い地球にならない様に、酷暑や風水害などは困るのですが、適度な光と降水に期待しています。勝手な言い分で、お天道様には申し訳ありません。 参加者: 7名



蔵王連峰と探索



キノコたち



ノイバラ、リンドウ、オクトリカブト、ツルリンドウ

■今後の活動について

【例会】 日時: 10 月 12 日(日) 10:00

場所: 作業小屋

内容: 小鳥の森の不条枝切り、自然観察(樹木の果実等)、キノコ採り

【例会】 日時: 10 月 26 日(日) 10:00

場所: 作業小屋

内容: 小鳥の森の境界刈り、自然観察(樹木の果実等)、キノコ採り

【例会・理事会】 日時: 11 月 9 日(日) 10:00

場所: 作業小屋

内容: 作業小屋・物置小屋の大掃除、理事会、自然観察